

原子力災害医療における放射線防護と計測

2018 in 北陸

公益社団法人 日本放射線技術学会 中部支部
放射線防護研究会 世話人 上野博之 嶋田真人 能登公也
小林正尚 伊藤佑介

東日本大震災に伴う福島第一原発事故以降、原子力災害時の医療が注目され、放射線技師は放射線に対する高い専門性を期待されている。

原子力災害時に必要とされる計測・防護の知識と求められる役割について学ぶ。

プログラム

第一部(13:30~14:45)

「原子力災害医療現場での役割」

講師 広島大学病院 西丸英治 先生

休憩15分

第二部(15:00~15:45)

「サーベイメータの測定原理と使い方」

講師 日立製作所 橋本祐介 先生

休憩15分

第三部(16:00~17:00)

「原子力災害医療における

被ばく測定(セグメント法)の実習」

- 日時 2018年6月23日(土) 13時受付
- 会場 金沢大学鶴間キャンパス 1号館2階1219室
- 参加費 会員 無料 非会員 500円 定員 20名
- 申し込み：6月20日までに所属、氏名、会員・非会員の別、電話番号をメールでお申し込みください。上野博之：sakurazero9@hotmail.com